フィールドコミュニケータ CD/DVD ReadMe Rev.K 2012 年 4 月

内容
=====
1. リソース CD / DVD の概要
2. フィールド コミュニケータ イージー アップグレード ユーティリティ（アップグレード ソフトウェア）
3. システム ソフトウェア
4. リソース CD/DVD の DD（デバイスディスクリプション）
5. リソース CD/DVD の Technical Support（テクニカルサポート）

---
1. リソース CD/DVD の概要

リソース CD/DVD に含まれているアイテム
リソース CD システム ソフトウェア、DD、イージー アップグレード ユーティリティ、マニュアル（英語版）
リソース DVD　システム ソフトウェア、DD、イージー アップグレード ユーティリティ、マニュアル（英語版、ロシア語版、ドイツ語版、フランス語版、ポルトガル語版、中国語版、日本語版）

このドキュメントのセクション 2,3,4 では、これらのアイテムの追加情報が記載されています。
リソースCD/DVDには、www.fieldcommunicator.comウェブサイトにおけるこのドキュメントのリンクが含まれています。（ユーザーマニュアル、認証関連書類、機器メニューツリーなど）

注： リソース CD/DVD を挿入した際、自動的にメインメニューが開かない場合は、次のステップで操作をして下さい。

1. デスクトップのマイコンピュータをダブルクリックする。
2. CD/DVD を挿入したドライブを右クリックして、開くをクリックする。
3. resourcecd.exe をダブルクリックする。

リソース CD/DVD の現在の Version(リソース CD/DVD 表面の日付コードで最新 Version を下さい) イージー アップグレード ユーティリティを PC にインストールする時、または再インストールする時のために CD/DVD は大事に保管して下さい。

Readme ファイルの最新Versionは、ウェブサイトhttp://www2.emersonprocess.com/en-US/brands/Field-Communicator/Pages/Documentation.aspx または 最新のリソースCD/DVDから入手して下さい。

---
2. フィールド コミュニケータ イージー アップグレード ユーティリティ

イージー アップグレード ユーティリティ　インストール PC 要件
==========
イージー アップグレード ユーティリティをインストールする PC は、下記のようにハードウェアおよびソフトウェア要件を満たさなければなりません。

Windows ユーザ アカウント
==========
Windows ユーザ アカウントはインストールするために次の権利を有していることを確認して下さい。

-Windows アドミニストレータ権限
-イージー アップグレード ユーティリティのインストールディレクトリへのフルアクセス権限
デフォルト ロケーションは下記の通り。
C:¥Program Files¥Field Communicator Easy Upgrade Utility 3.6.
-最新のシステム ソフトウェアおよび DD をダウンロードするためのインターネット接続環境

ソフトウェア
==========
- 対応 OS Windows 7 Professional (32 ビット または 64 ビット),Vista Business Service Pack 2 (32 ビット), XP Professional Service Pack 2 or 3 (32 ビット)
-Internet Explorer 8.0, 7.0, または 6.0.
-Windows 7 32 ビット, Vista, XP 用 Microsoft SQL Server 2005 Compact Edition (イージー アップグレード ユーティリティのインストール プログラムに含まれています)
- Windows 7 64 ビット用の Microsoft SQL Server 2005 Compact Edition Service Pack 2. は下記サイトより入手できます。 http://www.microsoft.com/downloads/en/details.aspx?displaylang=en&FamilyID=e497988a-c93a-404c-b161-3a0b323dce24 注) 32 ビット および 64 ビット MSI ファイルをインストールして下さい。もしない場合は、メッセージ “Communications with this unit has been interrupted” が表示され、イージー アップグレード ユーティリティの機能が適切に動作しません。
-.NET Framework 2.0 以上ない場合は下記から入手して下さい。 http://www.microsoft.com/downloads/en/details.aspx?familyid=0856EACB-4362-4B0D-8EDD-AAB15C5E04F5&displaylang=en
-Windows DPI ディスプレイ設定： 96 DPI.以上
-プロキシ サーバ 設定：無効

ハードウェア
==========

ハードウェア最小要件

お使いの OS と下記以上の要件を満たす必要があります。

-ハードディスク空き容量：1GB 以上
-メモリ：256MB 以上
-CPU：866MHz 以上
-インターネット接続環境 (「PC のアップデート」または「ライセンス登録」使用時に必要)

推奨する IrDA アダプタ

ACTiSYS IR2002UL USB to IRDA adapter (WHQL 認証済み)
ACTiSYS IR2000UL USB to IRDA adapter

備考： IrDA アダプタに関する OS 仕様やインストール、ドライバについては、次のサイトを参照下さい。
http://www.actisys.com

サポートされる SD カードリーダー

-SanDisk SDDR-289-X20
-SanDisk SDDR 104
-SanDisk SDDR 99 A15 Firmware Version 4
-SanDisk SDDR 33 Firmware 0205 (廃品)
-Kingston Travel Lite FCD - HS2 MMC
-Internal card readers in the following Panasonic Toughbook models: CF-18,CF-29,CF-30
-IOGear GFR209/GFR209(W6) (P/N 00375-0018-0022)

他の SD カードリーダーはファイル損傷を招く可能性があります。弊社テクニカル サポートへご相談下さい。（エマソン プロセス マネジメントは問題時に発生する追加費用については一切責任を負いません。）

PC 用 Bluetooth アダプタ

Bluetooth ライセンス有効のフィールド コミュニケータ とイージー アップグレード ユーティリティを接続するためにはサポートされた Bluetooth アダプタが必要です。
このアダプタは Windows Bluetooth ソフトウェアとドライバが必要です。
Windows XP Professional Service Pack 2 または 3、Windows Vista Professional Service Pack 1、Windows 7 Professional.

3rd パーティ Bluetooth ソフトウェア・ドライバがすでにお使いの PC にインストールされている場合は、必要とされる Windows ドライバーがそのアダプタに使用できない可能性があります。
Windows ドライバ・ソフトウェアを使って Bluetooth が見つからない場合は、イージー アップグレード ユーティリティからエラーメッセージが表示されます。

これらのドライバを使ってイージー アップグレード ユーティリティ ヘルプにある次の手順により設定できます。（ユーティリティ ウィンドウの「ヘルプ」ボタンをクリックして、「Bluetooth アダプタの設定」で検索して下さい。）

承認された Bluetooth アダプタ
==========
-Kensington 33902 Bluetooth USB マイクロ アダプター
-SMK-Link VP6494 USB 2.0 adapter
-Internal Bluetooth adapters in the Panasonic
Toughbook CF-29 および CF-30 (Windows XP ,Vista).

イージー アップグレード ユーティリティ の インストール手順
==========

リソース CD/DVD をインストールする PC に挿入して、インストールプログラムを実行して下さい。もしあなたが持っているリソース CD/DVD より新しい Version が必要な場合、画面下の「Easy Upgrade」リンクをクリックしてダウンロードして下さい。

イージーアップグレードユーティリティのインストール

1. リソース CD/DVD をインストールする PC の適切なドライブに挿入する。
2. 少し待つと、CD または、DVD から自動的にイージーアップグレード　インストーラが起動します。
3. 起動したインストーラのイージーアップグレードインストールをクリックします。
4. 表示される案内に従ってインストールを進めてください

もし、自動的にインストーラが起動しない場合は、次の手順を行ってください。

1. リソース CD/DVD をインストールする PC の適切なドライブに挿入する。

2. デスクトップから、マイコンピュータをダブルクリックする。
3. リソース CD/DVD のドライブを右クリックして、開くを選択する。
4. TPUinstall.exe をダブルクリックする。
5. 表示されるウィザードの指示に従ってインストールする。

もし 475resourceCD.zipファイルをwww.fieldcommunicator.comからダウンロードした場合は、同様に TPUinstall.exeを探してダブルクリックして下さい。
古い Version がインストールされている場合は、アンインストールしてください。

注： インストールされたファイルのデフォルト保存場所は
C:¥Program Files¥Field Communicator Easy Upgrade
Utility 3.6 です。

インストールが完了したら、イージー アップグレード ユーティリティを起動して下さい。その後、ユーティリティ メイン画面の「PC のアップデート」ボタンをクリックして最新のシステム ソフトウェア、DD をダウンロードして下さい。（インターネット接続環境が必要）

フィールド コミュニケータをアップグレードしたい場合は、アップグレード手順書(PDF)を参照下さい。

イージー アップグレード ユーティリティとフィールド コミュニケータの言語の変更

==========

リソース DVD をお持ちでない場合は、英語版のイージー アップグレード ユーティリティをインストールするためにリソース CD をお使い下さい。インストール完了した後に言語を変更できます。

もしあなたのフィールド コミュニケータ のシステム ソフトウェアをアジア圏言語から他言語へ変更する場合は、KBA NK-1000-0166 を参照下さい。

言語を変更する場合は、有効であるイージー アップグレード ライセンスが必要です。

言語の変更方法：

1. イージー アップグレード ユーティリティを起動する。
2. 「設定」をクリックする。
3. 「PC データベース」から該当の言語を選択する。
4. グラフィカル ユーザ インターフェース プルダウンボックスから該当の言語を選択する。
5. 「適用」をクリックする。（イージー アップグレード ユーティリティが再起動します）
6. アップグレード ウィンドウにおいて、「PC のアップデート」を実行して最新のシステム ソフトウェア、DD をダウンロードして下さい。
7. フィールド コミュニケータをアップグレードする。

フィールド コミュニケータやシステム カードをイージー アップグレード ユーティリティに接続した時に、言語は同じでなければなりません。そうでなければ、イージー アップグレード ユーティリティから言語を変更するよう指示が出ます。
(例：現在のシステム ソフトウェアは 3.0 英語版です。PC データベースとグラフィカル ユーザ インターフェースは English に設定されています)

イージーアップグレード ユーティリティ ソフトウェア Version
==========

Version 3.6

2012 年 2 月リリース

- フランス語、ポルトガル語がサポートされました。（中国語、英語、ドイツ語、日本語、ロシア語は前 Version でリリースされています）インストールの際には言語を選択して下さい。

この Version はリソース CD/DVD の Rev J から配布されます。

Version 3.5-終了

2011 年 1 月リリース

- 中国語がサポートされています。（英語、ドイツ語、日本語、ロシア語は前 Version でリリースされています）インストールの際には言語を選択して下さい。
- Windows 7 Professional (64 ビットまたは 32 ビット)がサポートされています。

注：ValveLink Mobile Premium ライセンスは使用できません。

この Version はリソース CD/DVD の Rev G から配布されます。

Version 3.3 - 終了

2010 年 3 月リリース

イージー アップグレード ユーティリティ英語版、ドイツ語版、ロシア語版に加え、日本語版サポートがリリースしました。インストールプログラム実行中に言語の選択をしてください。

Windows XP 上で日本語の文字表示をするには、ご使用の PC に東アジア言語のファイルをインストールしてください。これらのファイルをインストールするには、Windows の[コントロールパネル]を開き、地域と言語のオプションを選択します。
[言語]タブで、“東アジア言語ファイルのファイルをインストールする”を選択してください。
オペレーティングシステムインストール CD とディスクに 230MB の空き領域が必要です。

この Version はリソース CD Rev D で最初に公開されました。

Version 3.2 - 終了

2009 年 12 月リリース

イージー アップグレード ユーティリティのロシア語版とドイツ語版サポートです。これらのいずれをインストールするには、インストールプログラム実行中に言語の選択をしてください。

プログラムのインストール後もイージー アップグレード ユーティリティの言語変更ができます。
[設定]ウィンドウからリストされたフィールドが言語設定を行います。
これらのフィールドの変更は不要です。

- PC のデータベース言語: 選択した言語で最新のシステム ソフトウェアと DD を PC のデータベースにダウンロードができ、フィールド コミュニケータへ転送が可能 です。

- グラフィカルユーザーインターフェース: イージー アップグレード ユーティリティ ウィンドウで使用される言語のみ変更し、どのシステム ソフトウェアと DD をダウンロードするかは 決定しません。

フィールド コミュニケータまたはシステムカードをイージー アップグレード ユーティリティに接続する際、
フィールド コミュニケータ システム ソフトウェアの言語とイージー アップグレード ユーティリティ PC のデータベース言語は同じでなければならい。
同じでない場合、イージー アップグレード ユーティリティは、これらいずれかのソフトウェア アプリケーションの言語を変更するように表示します。

注： イージー アップグレード ユーティリティは、非アスキー文字で HART コンフィグレーションを Version3.1 以前のフィールド コミュニケータ システム ソフトウェアに転送することはできません。

この Version はリソース CD Rev C で最初に公開されました。

Version 3.0 - 終了

2009 年 8 月リリース

イージー アップグレード ユーティリティは、このリリース用に改良されました。
また、“375 イージー アップグレード プログラミンング ユーティリティ” から“フィールド コミュニケータ イージー アップグレード ユーティリティ”に改名されました。

新機能：
-システムカードから HART コンフィグレーションの印刷、保存(バックアップ)機能
内蔵フラッシュ、イージー アップグレード ユーティリティ使用の拡張モジュール
この機能を使用するには、フィールド コミュニケータに機器コンフィグレーション管理ライセンスが必要です。

-Bluetooth 機能ライセンス付 475 フィールド コミュニケータでの Bluetooth コミュニケーションサポートープログラム起動時に、イージー アップグレード ユーティリティが自動的に新しいシステム ソフトウェアと機器名をﾁｪｯｸする設定機能。

この Version は 475 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev A で最初に公開されました。

Version 2.0.3 - 終了

2008 年 2 月リリース

プログラミング ユーティリティは、メーカーから機器をフィルタリングし 375 システムカードでメモリを管理する。システムカード メモリ管理の詳細については、イージー アップグレード プログラミング ユーティリティ ヘルプを参照してください。

[全てを転送する]と[キャンセル]ボタンは機器、ユーザーデータ、イベントの取組みから削除されました。
ファイルメニューの[全てを転送する]オプションも削除されました。

この Version は 375 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev R で最初に公開されました。

Version 1.6.0 - 終了

2007 年 5 月リリース

プログラミング ユーティリティは、サービスセンターに 375 フィールド コミュニケータを送付せずに新機能を追加するオンライン ライセンシング機能を有します。
FOUNDATION フィールド アプリケーション、イージー アップグレード オプション (新規と更新)、グラフィック オプション を購入または、ライセンスの有効をすることができます。
新しいライセンスを購入またはダウンロードする前に、アカウントと 375 を登録する必要があります。

Version 1.6.0 では、システム ソフトウェアと機器表示を 375 システムカードに転送する際、USB SD カードリーダーを使用出来ます。375 システム ソフトウェア Version2.0 にアップグレードする際は、カードリーダーが必ず必要です。

この Version は 375 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev. M で最初に公開されました。

Version 1.3.0 - 終了

2005 年 3 月リリース

プログラミング ユーティリティはネットワーク通信およびローカリゼーションの拡張機能が含まれています。

この Version は、必要によりテクニカルサポート担当者により公開されました。

Version1.3.0 - 終了

2004 年 7 月リリース

プログラミング ユーティリティは、Version1.1.1 で行ったように起動時に 375 を自動検出をしません。基本手順:

1. イージー アップグレード プログラムを起動する。
2. 更新をクリックします。
3. 375 検出をクリックします。

(詳細については、イージー アップグレード プログラミング ユーティリティ ヘルプを参照してください。)

この Version は 375 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev. E で最初に公開されました。

Version 1.2.6 - 終了

2004 年 6 月リリース

この Version は 375 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev. D で最初に公開されました。

Version 1.1.1- 終了

2003 年 7 月リリース
この Version は、プログラミング ユーティリティの最初のリリースでした。また、375 フィールド コミュニケータ リソース CD Rev. A, B,C で公開されました。

イージー アップグレード ユーティリティ における問題と回避策
==========

- 状況: Windows Explorer を使用し PC データベース フォルダのファイルを開く際、通信エラーメッセージが表示されます。イージー アップグレード ユーティリティを起動しようとする前にﾌｧｲﾙを開く場合、イージー アップグレード ユーティリティは起動できません。
- 回避策: 開いているファイルを閉じ、イージー アップグレード ユーティリティを再起動します。
  PC データベース フォルダ内の保存ファイルは Windows Explorer を使用して開封または修正されません。
（この状況は、Version 3.6, 3.5、3.3、3.2、および 3.0 で発生します。）

- 状況: ネットワーク上で共通 PC データベースにアクセスする複数 PC でイージー アップグレード ユーティリティを起動しようとする場合、メッセージ表示 “このアプリケーションを使用するには Windows 管理者権利が必要です。” があらわれます。イージー アップグレード ユーティリティは、エラーメッセージを表示し、閉じます。イージー アップグレード ユーティリティを起動している 1 台の PC のみがネットワーク ドライブで PC データベースにアクセスできます。
- 回避策: 必ず 1 つの LAN に 1 台の PC がイージー アップグレード ユーティリティを作動し PC データベースへアクセスしてください。
（この状況は、Version 3.6, 3.5、3.3、3.2、および 3.0 で発生します。）

-状況: HART コンフィグレーション ファイル印刷時に、“プリンタが見つかりません”というメッセージ表示があるかイージー アップグレード ユーティリティが閉じる。
-回避策: 別のプリンタを選択する必要があります。Windows Vista の制限により、イージー アップグレード ユーティリティにアクセスできない場合があります。
（この状況は、Version 3.6, 3.5、3.3、3.2、および 3.0 で発生します。）

-状況: コンフィグレーションを AMS デバイスマネージャからフィールドコミュニケータへ転送したり、フィールドコミュニケータ ソフトウェア Version 2.5 以前に作成や保存をすると、イージー アップグレード ユーティリティより表示、または印刷したコンフィグレーションは正しく表示さ れない場合があります。
ー回避策: システムソフトウェア Version 3.0 以上をインストールしたフィールドコミュニケータでコンフィグレーション ファイルを開き、上書き保存をしてください。その後、ファイルをイージー アップグレード ユーティリティへ転送し閲覧または印刷してください。
（この状況は、Version 3.6, 3.5、3.3、3.2、および 3.0 で発生します。）

ー状況: Bluetooth を使用し 475 を接続中に PC の Bluetooth アダプタを取り外し再度挿入すると、475 の接続を切断します。Bluetooth を使用し 475 を再接続する場合、“フィールド コミュニケータが見つかりませんでした” というメッセージが表示されます。
ー回避策: 必ずアダプタを接続し、PC を再起動してください。イージー アップグレード ユーティリティを開き、Bluetooth を使用して 475 フィールド コミュニケータに再接続してください。
（この状況は、Version 3.6, 3.5、3.3、3.2、および 3.0 で発生します。）

ー状況: システム ソフトウェアの Version が廃止される際、フィールド コミュニケータへのダウンロードはできなくなります。フィールド コミュニケータやシステムカードの接続なしに PC データベース（システム ソフトウェア タブ）でシステム ソフトウェアのリストを見る場合、廃止システム ソフトウェアについては黄色い（ダウングレード）間違ったアイコンを表示します。 フィールド コミュニケータ接続時には、正しい赤いアイコン（ダウンロードのブロック）が表示されます。
ー回避策: 操作は不要です。
（この状況は、Version 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.0, 2.0.3, 1.6.0, 1.3.0, 1.2.6, 1.1.1. で発生します。）

---
3. システム ソフトウェア

注: 375 や 475 フィールドコミュニケータ と他のホスト システム間の相互運用テストは継続的プロセスです。 このテスト結果についての最新情報を入手するには、www.fieldcommunicator.comにアクセスしてください。

下記は、システム ソフトウェア Version のリストです。

Version 3.7
==========
2012 年 4 月リリース

Version 3.7 では、v3.6 で問題があった Valve の校正、ストローク調整が完了できない部分を修正しました。対象機器は、DVC5000,DVC6000,DVC6200 です。
Version3.6 をご使用のユーザは v3.7 へのアップグレードを推奨します。

ValveLink Mobile 3.0 では、この問題による影響は受けません、v3.6 のコミュニケータでトラベルキャリブレーションを実行できます。

Version 3.7 のシステムソフトウェアは、 375 と 475 Field Communicator に対応しています。.

Version 3.6
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2012 年 2 月リリース

下記の新機能が追加されました。

-フランス語とポルトガル語に対応
-ValveLink Mobile 3.0. では以下の対応機器が追加されました。
  -FIELDVUE DVC6200 hardware version 2, firmware versions 2 と 3
  -FIELDVUE DVC6000 II, firmware versions 2 と 3
  -FIELDVUE DVC2000, firmware versions 1, 2, と 3
-2GB System Cards が 475 で対応します. (375 では、1GB までの System Cards に対応します。)

Version 3.6 のシステムソフトウェアは、 375 と 475 Field Communicator.に対応します。

Version3.5
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2011 年 1 月リリース

下記の新機能が追加されました。

-設定とフィールド コミュニケータ メインメニューにアイコンをベースとしたメニュー表示
-475/375 システム ソフトウェア の中国語 Version
-ベーシックまたはリンク マスタ機器として fieldbus 機器を設定する機能
-PD 診断付き新しい ValveLink Version 2.0。この Version は、ファイルを AMS Valvelink スナップオン アプリケーションにインポートした際、間違った機器改訂版がタグに割り当てられる問題を修正します。
Version 3.5 システム ソフトウェアは、375 と 475 フィールド コミュニケータの両方でサポートされています。

Version 3.3 - 終了
（システム ソフトウェア Version 3.7 で代替）
==========
2010 年 3 月リリース

日本語版システム ソフトウェア と DD サポートをします。スクラッチパッド(ユーザー データ)ファイルにはアスキー文字を使用してください。

Version 3.3 システム ソフトウェアは、375 と 475 フィールド コミュニケータの両方でサポートされています。

Version3.2 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2009 年 12 月リリース

下記の新機能が追加されました。

ーFisher FIELDVUE™ HART デジタル バルブ コントローラー(DVC6000 と DVC6200 に限る) で診断を実行する ValveLink™ Mobile のサポートをする。 ValveLink Mobile を開くには、フィールド コミュニケータのシステム カードが 1GB以上あることとイージー アップグレード ライセンスが有効でなければならない。ValveLink Mobileの機能についての文書は、www.fieldcommunicator.comにてご覧ください。 -システム ソフトウェアとDDのドイツ語版とロシア語版のサポートをします。
-HART コンフィグレーション名の非アスキー文字をサポートします。これらのコンフィグレーションを AMS デバイスマネージャ 10.5 から、またはイージー アップグレード ユーティリティ Version 3.2 から フィールド コミュニケータ へ転送することができます。
- FOUNDATION fieldbus アプリケーションで、fieldbus 機器を一時的アドレス(248-251)に設定する機能。

Version3.2 システム ソフトウェアは、375 と 475 フィールド コミュニケータの両方でサポートされています。

Version 3. 1 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2009 年 10 月リリース

新しいオペレーティング システムと 475 フィールド コミュニケータの電源管理機能への更新を含む。

このシステム ソフトウェア Version は、475 フィールド コミュニケータでのみ利用できます。
この Version を 375 フィールド コミュニケータへダウンロードや転送用にイージー アップグレード ユーティリティを使用することはできません。

Version 3.0 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2009 年 8 月リリース

下記の新機能が追加されました。

-Bluetooth と機器コンフィグレーション管理の新しいライセンス
-設定メニューからイージー アップグレード の有効期限日の閲覧機能。

（フィールド コミュニケータのメインメニューから[設定]をダブルクリックし、ライセンスをダブルクリックします。）
-機器コンフィグレーション管理ライセンス済みの HART 機器とユーザーコンフィグレーションをシステムカードへ保存する機能。
-475 フィールド コミュニケータ のカラースクリーンでのサポート。
-475 フィールド コミュニケータ の Bluetooth コミュニケーション（ライセンス済みの場合)のサポート

Version 3.0 システム ソフトウェアは、375 と 475 フィールド コミュニケータの両方でサポートされています。

Version 2.5 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2008 年 10 月リリース

下記の新機能が追加されました。

ーコンフィグレーション HART レビジョン 7 機器のサポート
-アドレスによるポーリングと特有 ID 使用のポーリングの 2 つの新しいポーリング オプションが HART アプリケーションに追加されました。次のポーリングは削除されました: ポーリングしない、ポーリング前の問い合わせ、常時ポーリング、デジタル ポーリング

ーブロックより機能でパラメータを組織する fieldbus 機器メニューのサポート。 概要、構成、サービスツールや詳細設定といったオプションは、機器ブロックではなく　表示される場合があります。この機器メニューは、機器接続に表示される　最初のオンライン メニューです。ブロック リスト は、詳細設定からアクセスできます。 これらの新しい機器メニューが表示されている場合、DD が決定されます。

Version2.3 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2008 年 6 月リリース

HART アプリケーションでの下記の不一致の修正を含む:

- “不明な計数” メッセージが表示され、HART リビジョン 3 と 4 の機器用パラメータの編集後、HART アプリケーションを開くことができません。
-機器用ホットキーの設定後、HART アプリケーションを開くことができません。
- 1 つの機器タイプ用コンフィグレーション パラメータが一致する機器リビジョンとともに別の機器ﾀｲﾌﾟへ誤って送信される可能性があります。

Version 2.0 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2007 年 5 月リリース

下記の新機能が追加されました。

-Version1.9 からの強化 EDDL 機能と 1.91 リリース
-新しい Windows CE オペレーティング システム
-より早い起動
-改善された電源管理機能

-ブロックの実体化、ブロックモードを即座に変更するモードボタンと新しいセグメント診断を含む
FOUNDATION fieldbus アプリケーションでの新機能。

Version 1.91 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2006 年 9 月リリース

HART や FOUNDATION fieldbus 機器の EDDL へのグラフィック関連強化機能サポートを含む。

強化されたグラフィック機器の説明は、イージー アップグレード ユーティリティを使用してダウンロードすることができません。 375 用にこれらの機器説明をダウンロードするための手順は、インターネット エクスプローラーのアドレス フィールドに以下の URL を入力して入手してください。

http://www.fieldcommunicator.com/downloads/Enhanced_DD_Downloads.pdf

全ての非 EDDL 機器サポート用にイージー アップグレード ﾕｰﾃｨﾘﾃｨの使用を続行してください。

Version 1.91 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2006 年 1 月リリース

HART 機器の EDDL へのグラフィック関連強化機能サポートを含む。

強化されたグラフィック機器の説明は、イージー アップグレード ユーティリティを使用してダウンロードすることができません。 375 用にこれらの機器説明をダウンロードするための手順は、インターネット エクスプローラーのアドレス フィールドに以下の URL を入力して入手してください。

http://www.fieldcommunicator.com/downloads/Enhanced_DD_Downloads.pdf

全ての非 EDDL 機器サポート用にイージー アップグレード ユーティリティの使用を続行してください。

Version 1.8 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2004 年 6 月リリース

HART® アプリケーション Version 1.0, FOUNDATION™ fieldbus アプリケーション Version 2.0 および CDC Firmware Version 1.3. を含む。

このリリースでスタートする場合、元の初期状態のバッテリ 電源設定は、“電源 セーブ” =5 分、“オート オフ”=30 分 です。“外部電源”の初期状態は同じままです。

この Version から FOUNDATION™ fieldbus アプリケーションにおいて、V(FUN)（最初のアンポール アドレス）が 20 で設定されます。

Version 1.7 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
この Version は限定的な Version です。

Knowledge Base Article "375F Field Communicator with DeltaV Series 1 H1 Card (KJ3004X1-BA pn 12P1046)"を参照下さい。

Version 1.6 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2003 年 10 月リリース

HART® アプリケーション Version 1.0, CDC Firmware Version 1.3 および FOUNDATION™ fieldbus アプリケーション Version 1.1.を含みます。

これは、FOUNDATION fieldbus アプリケーション機能付き システム ソフトウェアの最初の製品 Version です。

Version 1.4 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
ﾘﾘｰｽ日 2003 年 10 月

この Version は、fieldbus 機能を含みません。

Version 1.4 は、HART® アプリケーション Version 1.0, CDC Firmware Version7 および FOUNDATION™ fieldbus アプリケーション Version 0.2 を含みます。

Version 1.4 は、HART Communication dll への変更を実装しています。
Foxboro IMT25 や Honeywell STT25 の問題を解決しています。

Version 1.1 - 終了
(システム ソフトウェア Version 3.7 で代替)
==========
2003 年 7 月リリース
オリジナル システム ソフトウェア Version です。

Version1.1 は、fieldbus 機能を含みません。

Version 1.1 は、HART® アプリケーション Version 1.0, CDC Firmware Version7 および FOUNDATION™ fieldbus アプリケーション Version 0.2 を含みます。

システム ソフトウェアにおける問題と回避策
==========

-問題：RE-IMAGE もしくはシステム ソフトウェア のアップグレード中フィールド コミュニケータが再起動した時に、画面が 10 分以上ﾌﾘｰｽﾞした。
-回避策： FN＋バックライトキーを同時に押して、フィールド コミュニケータを強制シャットダウンする。再度電源を入れ、「Retry」オプションをタップする。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートへ連絡下さい。
（システム ソフトウェア 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, and 2.0.）

HART アプリケーション

- 問題： ポーリングアドレスが 0 より大きい時、HART アプリケーションが HART 5 機器にコンフィギュレーションを送信できなくなる。次のエラーメッセージが現れる。
  "No netman table for specified handle (4210) [line 193,] PRESS ANY KEY TO TERMINATE" キーを押した後、HART アプリケーションはメインメニューに戻る。
- 回避策： ポーリングアドレスをゼロに設定して、コンフィギュレーションを再送して下さい。

（システム ソフトウェア 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, and 2.0.）

Fieldbus アプリケーション

- 問題：機器が LAS の時、機器タグやアドレスを変更できなくなる。
- 回避策：変更するためにセグメントから機器を外して下さい。 そうすればフィールド コミュニケータまたは他の機器は LAS になります。 その時機器を再接続し、タグとアドレスを変更して下さい。

（システム ソフトウェア ver.3.7, 3.6, 3.5 で発生）

- 問題：フィールド コミュニケータがスタンバイモードから戻る時、ライブ機器リストがブランクになる。
- 回避策： メインメニューの Fieldbus アプリケーションへ戻って、「オンライン」をタップして下さい。ライブ機器リストに接続された全ての機器が表示されます。

（システム ソフトウェア ver.3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, and 3.0 で発生）

- 問題： Yokogawa CS3000 セグメントにある MicroMotion 2700 をフィールド コミュニケータで接続すると "Device uploading aborted" メッセージが表示される。
- 回避策： MicroMotion に連絡して下さい。

（ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver.3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, and 3.0 で発生）

- 問題： フィールド コミュニケータでいくつかの大きなグラフィックスを表示した後に "Program Memory Low" ﾒｯｾｰｼﾞが表示される。
- 回避策： フィールド コミュニケータキーの FN＋バックライトキーを同時に押して、フィールド コミュニケータを強制シャットダウンして下さい。再度電源を入れて下さい。

（ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5. で発生）

- 問題： フィールド コミュニケータが Rockwell リンキング機器に接続されている場合、ホストシステムはクラッシュするかタイムアウトするかもしれません。
- 回避策： フィールド コミュニケータは同じセグメントで使用しないでください。

（ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, and 2.0.）

- 問題： 時折、fieldbus 機器からデータをアップロードできなくなる。（機器アップロード中止）
- 回避策： これは機器を再起動するか、アドレス変更により修正されます。（SMAR LD302 はこの限りではありません） 数分後、ユニットはフリーズするかもしれません。しかしこのケースではフィールド コミュニケータはフリーズしていません。

（ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver.. 3.7, 3.6,3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.91, 1.9, and 1.8.）

- 問題： 機器のアドレスが変更できない。（注：機器が制御システムに接続されている場合は、予期せぬ動作を引き起こす可能性があるので、フィールド コミュニケータで機器アドレスを変更しないことをお勧めします。
- 回避策： フィールド コミュニケータが LAS であることを確認しください。もしそうでなければ、今アドレス変更しようとしている機器はバックアップであるかどうか決めて下さい。

（ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6,3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.8,1.6.）

- 問題： フィールド コミュニケータがベンチ コンフィギュレーションにあるセグメントに接続している、またはライブリストがブランクになっている。（フィールド コミュニケータさえも表示されない）
- 回避策： まずフィールド コミュニケータをセグメントに接続して通信を確立して下さい。そして機器を追加して下さい。この問題はある LAS 有効の機器がセグメント内で通信しようとするタイミングによるものです。まずフィールド コミュニケータを接続して、LAS を残して通信を制限して下さい。

(ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6,3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.8,1.6.)

- 問題： フィールド コミュニケータをセグメントの LAS として維持させたいときは、バックアップ LAS が引き継ぐでしょう。
- 回避策： バックアップLASが引き継ぐような状態は機器アドレスとスロットタイムに関係してきます。機器のアドレスとスロットタイムが少なくなればなるほど、起こりやすくなります。スロットタイムに関わるwww.fieldcommunicator.comのKnowledge Base Articleを参照下さい。

(ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.8,1.6.)

- 問題： セグメントに接続されている機器がライブリストに表示されない。（注：いくつかの機器の場合、この機器がライブリストに表示されるようにスロットタイムを 16 に変更する必要があります。）
- 回避策： 配線接続と設置が適切であるが確認下さい。もしそうであれば、スロットタイムによる問題です。フィールド コミュニケータのリンク設定ウィンドウでスロットタイムを変更できます。（メインメニュー| Fieldbus アプリケーション|ユーティリティ|リンク設定）スロットタイムに関わるwww.fieldcommunicator.comのKnowledge Base Articleを参照下さい。

(ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.8,1.6.)

- 問題： フィールド コミュニケータが DeltaV セグメントに接続されている場合かつ、同じセグメントの機器が DeltaV を使ってコミッションされている場合、フィールド コミュニケータが機器に接続できない。
- 回避策： オフラインに行って、オンラインに戻して通信を確立して下さい。

(ｼｽﾃﾑ ｿﾌﾄｳｪｱ ver. 3.7, 3.6, 3.5, 3.3, 3.2, 3.1, 3.0, 2.5, 2.3, 2.0, 1.8,1.6.)

---

4. リソース CD/DVD の DD (Device Description)

CS/DVD の PC データベースに含まれる DD のリスト（HART, Fieldbus）はドキュメント¥General または:¥syssoftdds.html に保存されています。.

新しいDDが利用可能かどうか確かめるためには、www.fieldcommunicator.comにアクセスするか、イージーアップグレード ユーティリティのPCのアップデートをクリックして下さい。（インターネット接続が必要です。ログインが必要になるかもしれません。）

PC データベースや接続されているフィールド コミュニケータにある DD が利用可能か確かめるには、イージー アップグレード ユーティリティの DD タブを開いて確認して下さい。
（フィールド コミュニケータのマニュアルまたはヘルプ参照）

テスト済み DD と 未テスト DD

==========

テスト済みとしてリストアップされた機器はフィールド コミュニケータ テスト要件を合格しています。未テストとしてリストアップされた機器は基本操作適合を実証していますが、フィールド コミュニケータ テスト要件を完全には満たしていません。

フィールド コミュニケータ テスト要件をパスしていない DD は未テストとしてリストアップされます。また、工場出荷時にはシステムカードに保存されません。

イージーアップグレードライセンスを持つフィールド コミュニケータであれば、イージーアップグレード ユーティリティを使って未テスト DD を追加することができます。注：未テスト DD は個別に選択し転送する

ことができます。フィールド コミュニケータのアップグレード ボタンをクリック、システムカードのアップグレード、または全てのボタンを選択した時には未テスト DD は転送されません。

省略 DD
========
省略 DD は基本操作適合を確認するに当たり機器メーカが動作テストをしていない、またはサポートしていない DD です。これらの機器にインターフェースするときは、一般的な機能に限定されます。省略される DD は次のメーカの DD です。

HART 機器

Apparatebau Hundsbach (0x71) - 全ての機器
Tokyo Keiso (0x82) - FST3000
Young Tech (0xB4) -全ての機器

---
5. リソース CD/DVD の Technical Support (テクニカルサポート)

については、Emerson Sure Service (Global Service Center)または、ap-sms@AP.EmersonProcess.comにメールして下さい。さらなるテクニカルサポート情報はhttp://www.fieldcommunicator.com を参照下さい。